

# SANNO CONCERT

日 時：2017年4月28日（金）18：30～19：30

場 所：山王病院 1階アトリウム（入場無料）

## ♪Program♪

- バッハ作曲：チェンバロ協奏曲 第5番 ヘ短調 第2楽章より アリオソ
- バッハ作曲 シロティ編曲：前奏曲 ロ短調
- スクリャービン作曲：左手のための二つの小品より 夜想曲
- バッハ作曲 プラームス編曲：

無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第2番より シャコンヌ

- ☆ プーランク作曲：ナゼールの夜会

～前奏曲/Var I. やんごとなさの極み/Var II. つつみかくさめ心/

Var III. 無遠慮と遠慮深さ/Var IV. 一途/Var V. 心をとろかす魅惑/Var VI. 自己満足/

Var VII. 不幸せの風味/Var VIII. 年をとっても明るく元気/カデンツァ/終曲～

## PIANO 新澤 隆志 Takashi Niizawa (■印を演奏)



2002年8月に脳出血で倒れ、右半身完全麻痺及び言語麻痺の後遺症が残る。館野泉氏(※)の存在は知っていたが、まさかその彼が自分と同じ病気で倒れたとは。その後縁があって2005年11月に館野泉氏と共演することとなり、同じ左手のピアニストとして頑張ってみようと思いました。その際に、聴衆から「元気づけられた」とか「障害者から勇気をもらった」などの感想を頂き、自分も人を幸せにできるのだと思いました。右手は完全に失われ、声も言葉もほとんど奪われた身にとって、最後に残されたものは音楽しかないと考えようになりました。それからは、一日2時間はピアノの前に座るようになり、現在、全国の病院でピアノを弾かせて頂いております。2009年4月30日横浜開港150周年記念ピアノコンクール(於：横浜みなとみらいホール)で入賞しました。2010年10月11日、愛知芸術文化センターで国際芸術際

「あいちトリエンナーレ2010」の出演をしました。 ※館野泉氏(ピアニスト)2002年1月にフィンランドで演奏中に脳溢血で倒れ、それ以来右半身が麻痺するも演奏活動を続けている。

## PIANO 岩立 寿子 Hisako Iwatate (☆印を演奏)

宮城県仙台市生まれ。3歳よりピアノを始める。音楽を学ぶ一方で、お茶の水女子大学理学部生物学科に進学、淡水海綿の研究を行う。結婚後、夫の転勤に伴い、神戸、東京、フランクフルト、名古屋、横浜、ムンバイ、デリー、テヘラン、仙台に暮らす。海外駐在時、各都市でコンサートを開催。2012年4月、テヘランでの演奏活動に対して、在イラン日本国大使館より在外公館長表彰を受ける。2013年3月の帰国後、国内でのソロおよびアンサンブルの演奏活動を開始。2016年4月には、足立区梅島にスタジオフェルゼンを開業し、プロ、アマチュア問わず多くの音楽家に演奏の場を提供している。共演の新澤隆志氏とは、2009年に知り合ってから、度々同じ舞台上で演奏している。

